

「解答例」

選抜区分	2020年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 文学部比較文化学科（科目名：小論文）
<p data-bbox="188 434 368 465">問1【解答例】</p> <p data-bbox="188 526 1390 929">私たちは育つ過程で、自分たちの世界を慣れ親しんでいる既知の領域とそうではない未知の領域に分割するようになる。前者は秩序づけられた友好的な世界、後者は危険に満ちた無秩序な世界と見做され、後者が異界となる。前者と後者が具体的にどのような対立関係として表現されるかは、分類のレベルに応じてさまざまに変化する。また、異界とは境界の向こう側に広がる世界であり、この境界とは、前者でもあり後者でもあるという両義性を帯びた領域である。前者の住人が異界に赴く際にも、異界の住人が前者にやってくる際にも、この境界を越える必要がある。そのため、境界では異界の住人に遭遇する可能性が高くなり、そして特別な能力を持たない通常の者が行けるのは境界までである。従って、異界をめぐる物語の多くは、この境界をめぐる物語でもある。(348字)</p> <p data-bbox="188 1084 501 1115">問2【出題の意図】別紙</p>	